

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成 30 年 11 月 29 日)

1	山陰デスティネーションキャンペーン実施結果について	観光戦略課	P 1
2	ソニーシンガポール大規模年末プロモーションとの連携による鳥取県PRについて	観光戦略課	P 2
3	青少年ジャマイカ派遣及び「五輪ホストタウン団」の現地訪問結果について	交流推進課	P 4
4	第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果について	交流推進課	P 7
5	台湾台中市との友好交流協定締結、知事トッププロモーション活動の結果について	交流推進課	P11
6	秋の伯耆国「大山開山1300年祭」関係イベント等について	西部総合事務所 地域振興局	P16

観光交流局

山陰デスティネーションキャンペーン実施結果について

平成30年11月29日

観光戦略課

「Nostalgic San'in わすれがたき山陰」をキャッチフレーズに、鳥取県、島根県とJRグループ6社が協力して、今年7～9月の92日間、大型観光キャンペーン「山陰デスティネーションキャンペーン(山陰DC)」(主催:山陰DC協議会 構成:鳥取県、島根県、JR西日本、市長会、町村会、観光関係者、交通事業者など23団体)を開催しました。

鳥取、島根の雄大な自然や悠久の歴史・文化、神話や伝統的な祭り、素朴な人情など、「日本の原風景」溢れる魅力を存分にお楽しみいただける旅を提案するとともに、心のこもった「おもてなし」で全国からお客様をお迎えしました。

1 実施結果

山陰DC開始直後の西日本豪雨災害の影響により、県内を運行する特急列車が最長で一ヶ月運休したことにより7月は大きな影響を受けましたが、昨年のプレキャンペーンからの継続したPRと運転再開後の集中的なPR強化により、期間後半には特急列車の乗車人員数も持ち直し、鳥取砂丘・砂の美術館やリニューアルした水木しげるロードなどの主な観光施設における7～9月の入込客数も前年以上となりました。また、割引企画切符(「山陰めぐりパス」(京阪神エリア発着)、「山陰フリーパス」(岡山・広島・新山口発着))の販売も好調で、「山陰めぐりパス」は前年を大幅に上回る結果(対前年比221%)となりました。

山陰DCを契機に鬼太郎列車がリニューアルされ、観光列車「あめつち」が運行開始となりましたが、「あめつち」については、期間中の乗車率が83%、約5,000人の利用があり好調なスタートとなりました。

今年8月からは、西日本豪雨で被災した中国地方に観光客を呼び込むため、JRと中国五県による「がんばろう！西日本キャンペーン」が展開されており、「13府県ふっこう周遊割」と合わせて来春まで観光誘客に係る取組を継続して強化しています。

◇特急列車乗車人員数の対前年比

	7月	8月	9月	期間計	
スーパーはくと	58%	96%	108%	89%	※7/18 運転再開(因美線)
スーパーいなば	47%	96%	100%	82%	※7/18 運転再開(因美線)
やくも	13%	70%	94%	60%	※8/1 運転再開(伯備線)
スーパーおき・まつかぜ	93%	101%	106%	100%	

◇主な観光地の入込客数

主要観光施設	7月		8月		9月		期間計		
	人数	前年比	人数	前年比	人数	前年比	人/日	前年比	
東部	鳥取砂丘	64,299	82%	143,436	95%	111,394	109%	3,469	96%
	砂の美術館	34,551	90%	70,010	110%	51,910	126%	1,701	109%
	大江ノ郷自然牧場	24,061	94%	37,057	102%	30,197	105%	993	101%
中部	白壁土蔵群	41,419	88%	54,115	97%	48,464	94%	1,565	93%
	なしっこ館	11,734	101%	23,136	111%	12,974	113%	520	108%
	青山剛昌ふるさと館	13,124	107%	35,142	132%	13,296	157%	669	130%
西部	桝水天空リフト	4,217	95%	12,913	122%	3,893	100%	229	111%
	とっとり花回廊	10,205	84%	20,932	104%	17,796	115%	532	103%
	水木しげるロード	254,219	159%	601,502	162%	267,384	175%	12,208	165%

◇割引企画切符の販売状況

	7月	8月	9月	期間計	10月	
山陰めぐりパス(枚)	509(71%)	2,043(278%)	1,782(355%)	4,334(221%)	1,697	※()内は対前年比で、山陰フリーパスは、前年は発売なし
山陰フリーパス(枚)	280	464	539	1,283	626	

2 今後の取組

平成31年7月から8月には、「山陰DC・アフターキャンペーン」が予定されており、山陰DCを契機に注目された観光素材の更なる磨き上げを行い、誘客定着に向けて準備を進めているところです。

【主な観光素材】

- ・水木しげるロード(H30.7.14リニューアル):夜間照明演出によりパワーアップした妖怪ワールド
- ・若桜鉄道「観光列車・昭和、八頭号」:昭和レトロ感溢れる観光列車であり、路線全体が登録有形文化財
- ・円形劇場くらしよフイギュアミュージアム:日本を代表するフイギュアメーカー作品2,000体を展示
- ・米子城ライトアップ:2019夏の陣と称して戦国時代から残る歴史深い石垣が夜空に浮かぶ景観が好評

ソニーシンガポール大規模年末プロモーションとの連携による鳥取県PRについて

平成30年11月29日
観光戦略課

海外からの観光客誘致を促進するため、海外のクリエイターと連携し本県の観光情報の発信に取り組んでいますが、今年7月に実施したシンガポールでのプロモーション事業の成果として、ソニーシンガポールが年末に展開する同社商品の大型プロモーションと連携して鳥取県の魅力をPRすることが決定しました。

シンガポール全土で大規模に実施するプロモーションとの連携であり、広告効果の高いPRの実施により、シンガポール及びシンガポールを訪れる外国人観光客の本県への誘客を図ります。

事業概要

1 プロモーション名称

“SONY Year End Promotion 2018”（「ソニー・イヤー・エンド・プロモーション2018」）

2 プロモーション実施時期

平成30年11月15日（木）～12月31日（月）

3 コラボレーションPR内容

- ・商品カタログへの鳥取県の観光地紹介記事の掲載
※同カタログは全部で605,000部作成。シンガポール全家庭の約半数へ配布するほか、シンガポール全土の店頭にも配架される。
- ・シンガポール国内140店舗での店頭広告での鳥取県紹介
- ・シンガポール国内ソニーストアでの特設コーナーでの鳥取県紹介
- ・シンガポール国内約40店舗に設置されている同社のテレビで鳥取県PRビデオの放映
- ・MRT（電車・地下鉄）のプラットフォームでの鳥取県PR広告掲載
- ・MRT（電車・地下鉄）車内での鳥取県PR広告掲載
- ・現地最大手英字新聞での鳥取県PR広告掲載
- ・SNSでの鳥取県PR広告掲載
- ・専用ウェブサイトでの鳥取県PR広告掲載
- ・ダイレクトメールによる鳥取県PR広告実施

※ SNS：Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略で、インターネット上で人と人とのつながりや交流を楽しむ会員制サービス

4 過去実績

沖縄（2015年）、金沢（2016年）、東北（2015年）、ニセコ（2017年）で同種のプロモーションを実施している。

5 広告効果（見込み）

約400万人の目に触れる見込み（ソニーシンガポール側試算）。

6 経緯

今年7月に実施したシンガポールでのプロモーションにより、ソニーシンガポールが毎年実施する写真コンテストの初めての海外開催地として鳥取県で決勝戦が行われました。（9月29日～10月3日実施済み。）このコンテストでの連携を通して同社の年末プロモーションの担当者が本県の観光魅力を知り、今年の大規模プロモーションの連携先として本県が選定されました。

<参考>ソニーシンガポールとは

テレビ、ビデオ、カメラなどの家電製品の製造・販売を手掛けるソニー株式会社のシンガポール現地法人であり、現地での同社のカメラのプロモーションを強化するために、同社のカメラを使用した写真コンテストの開催等、シンガポールにおいて様々な商品販促を実施している。

<カタログ>



カタログ裏表紙

カタログ表紙

※605,000部印刷し、シンガポール全世帯の約半数に配布予定

<ソニー店舗装飾イメージ(案)> ...直営店舗5店舗で実施予定



青少年ジャマイカ派遣及び「五輪ホストタウン団」の現地訪問結果について

平成30年11月29日
交流推進課
高等学校課
スポーツ課

ジャマイカ・ウェストモアランド県との交流の一環として本県青少年交流団を派遣するとともに、濱崎晋一県議を団長とする協議団「五輪ホストタウン団」が現地を訪問し、青少年交流を視察したほか、同県モーア知事やジャマイカ・オリンピック協会（JOA）関係者との面談等を行った概要を以下のとおり報告します。

1. 派遣者

(青少年団) 鳥取湖陵高校5名(家庭クラブ部員)、米子高校(ダンス部員)5名、ほか引率
(ホストタウン団) 濱崎晋一ジャマイカ・鳥取友好議員連盟会長・鳥取県陸上競技協会会長、
森田靖彦教育委員会次長、小西慎太郎スポーツ課長、遠藤俊樹交流推進課長

2. 交流・協議内容

(1) 青少年交流事業(派遣期間:10月11日(木)~10月22日(月))

(概要)

- ・ウェストモアランド県内の高校を訪問し、同校生徒との料理、ダンス、グラウンドゴルフを通じた交流を行ったほか、ホームステイを行った。
- ・料理交流については日本風の唐揚げにジャマイカの伝統料理「ジャークチキン」の調味料で下味をつけ、両国の味覚のコラボレーションを意味する「Jam-Jap Chicken」と銘打ったメニューを考案し、ジャマイカ人生徒と共同で調理した。また、送別会場となるホテルのシェフ指導のもと、訪問先生徒を招いてオリジナルメニューを共同で調理し、送別会の席でウェストモアランド県行政関係者等に供した。
- ・ダンス交流については、訪問先の高校及び、ジャマイカの国民の休日「ヒーローズ・デイ」記念式典における特設ステージのほか、送別会、日本大使主催レセプションでダンスを披露し、鳥取県とウェストモアランド県の友好をアピールした。
- ・日本大使公邸で開催された鳥取県訪問団歓迎レセプション(10月19日(金))には、サミュエル JOA 会長はじめ、ジャマイカ五輪協会関係者やウェストモアランド県関係者の出席があり、山崎大使から「鳥取県はジャマイカにとって日本へのゲートウェイであり、高校生は日本の文化大使である」との歓迎の言葉が述べられた。鳥取県訪問団を代表した濱崎議連会長からは「今後ジャマイカとの交流をスポーツ、文化など幅広い分野で推進していきたい」旨の挨拶があった。

(教育的成果)

- ・異文化に直接触れる体験が高校生にもたらす教育力が存分に発揮された。風土、人種、言語、生活習慣や交通インフラ整備状況など、日本とは大きく異なる現実を目の当たりにしたことが、ジャマイカでの一つ一つの体験を客観視することにつながった。そのことで、生徒がジャマイカの人々との共感や共鳴に感動し、当たり前と思っていたことが日本の特徴であり、美德であることを実感できた。
- ・ジャマイカの人々のオープンなマインドと優しさに触れ、生徒に利他の心が醸成された。料理やダンスなど、生徒の得意分野で交流を重ねることができ、「自分たちの持ち味や特徴はどのようにして世の役に立てるのか」といった観点から自分の今後のあり方を考えていこうという気概に溢れる生徒が増えた。

【生徒の主なコメント】

「やりたいことは勇気を振り絞って挑戦してみることで、それまで見たことのない景色が見えると気づいた」

「学んだ多くのことをこれからに生かし、周りの人に影響を与えられる人間になりたい」

「英語を頑張って勉強し、またジャマイカに来たい。そして、触れ合ったジャマイカの生徒達ともっと仲良くなりたい」

(2) ジャマイカ・オリンピック協会 (JOA) との協議

日時 10月20日(土) 11時~12時、21日(日) 14時~15時 (現地時間)

場所 キングストン市内

相手方 サミュエダ会長、ゲイル第2副会長、スコット理事ほか

(概要)

- ・11月に東京で会議がありサミュエダ会長等が出席する。また、来年5月、横浜で世界リレーが開催され、サミュエダ会長、ゲイル副会長、ブレイク陸連会長が行く。この2つの機会に鳥取に行き、2020へ向けての取組(事前キャンプのスケジュールや東京でのジャマイカ館の設置等)について話し合いたい。
- ・鳥取とのパートナーシップは2020年の後も続けていきたい。ゲイル副会長が基盤を作ってくれた。文化面でも交流を深めていきたい。

(3) ウェストモアランド県モーア知事夫妻との面談

日時 10月17日(水) 19時~21時 (現地時間)

場所 ウェストモアランド県ネグリル

(概要)

[2020年東京オリンピック]

- ・濱崎会長から、6月に布勢で行われたスプリント選手権でジャマイカから招聘したウェストモアランド県出身のマイリー選手が女子100mで優勝したことを報告した。
- ・モーア知事から、東京オリンピックの際には鳥取県を訪問したいとの意向が示された。

[友好交流の促進について]

- ・モーア知事から、青少年交流として、来年度はウェストモアランド県から5名程度を鳥取県に派遣したいとの意向が示された。これまでウェストモアランド県から青少年の派遣実績はなく、実現すれば交流進展に大きく寄与するものと期待できる。

3. 帰国報告会の開催

今回の青少年交流の成果を県民に広く知ってもらうことを目的として次のとおり報告会を開催する。

- ・日時 平成30年12月16日(日)
- ・会場 エキパル倉吉多目的ホール(倉吉市上井195 JR倉吉駅構内)
- ・内容 県交流事業姉妹提携先への派遣生徒(ジャマイカ・ウェストモアランド県、米国・バーモント州)による、帰国報告プレゼン、パネルディスカッションなど

4. 写真



▲料理交流(リトルロンドン高)



▲ダンス交流(リトルロンドン高)



▲グラウンドゴルフ(リトルロンドン高)



▲ロイヤルトンホテル送別会



▲地元児童との交流会



▲ヒーローズ・デイのダンス披露

(参考) 行程

月 日	青少年団	ホストタウン団
10月12日 (金)	ジャマイカ到着、ウェストモアランド県主催歓迎会	
13日 (土)	地元児童、住民との交流行事 (地元慈善団体「NEET」主催)	
14日 (日)	ウェストモアランド県内視察	
15日 (月)	ヒーローズ・デイ (国民の祝日) 祭典でのダンス披露	
16日 (火)	訪問校生徒(バディ)とのレクリエーション	
17日 (水)	リトルロンドン高校訪問。料理、ダンスで交流	ジャマイカ着 モア知事と意見交換会
18日 (木)	グリーンジヒル高校訪問。料理交流 ロイヤルトンホテルでの料理交流、送別会	青少年団に同じ
19日 (金)	在ジャマイカ日本大使主催鳥取県訪問団歓迎レセプション	青少年団に同じ
20日 (土)	ジャマイカ出発	ジャマイカ五輪協会との 交流協議
21日 (日)		ジャマイカ五輪協会主催昼 食会
	(22日帰国)	(24日帰国)

第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果について

平成30年11月29日
交 流 推 進 課

10月29日（月）から31日（水）の日程で、ロシア沿海地方で開催された第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果について、次のとおり報告します。

1 サミット本会議

- (1) 日時 10月30日（火）午前10時から午後0時10分まで
- (2) 場所 極東連邦大学モルスコイホール（ウラジオストク市ルースキー島内）
- (3) 参加者 沿海地方 知事代行 コジェミャコ・オレグ（基調発言のみ）
*冒頭の基調発言後、bogダネンコ副知事（経済担当）が代理出席
中央県 知事 ジグジド・バトジャルガル
江原道 経済副知事 鄭 萬昊（チョン・マンホ）
吉林省 省長 景 俊海（ジン・ジュンハイ）
鳥取県 副知事 野川 聡
- (4) テーマ 「経済特区・北東アジア地域の総合発展への新しい可能性」
- (5) 概要

テーマである経済特区の可能性について、各地域から経済交流や物流ルート構築・観光交流等の様々な提案が行われた。野川副知事からは、経済交流や人的交流の重要性を踏まえ、次の提案を行った。

- ・北東アジア地域でオリンピック等の国際イベントが続くこの好機を捉え、世界から観光客を呼び込むため、スポーツ交流及び観光情報の共有等について、さらに連携して取り組んでいくべきであること。
 - ・このサミットの成果である環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリーの利用促進等による物流環境整備について、各地域が協力して取り組むべきであること。
 - ・各地域産業の特性・ポテンシャルの連携は相互発展に寄与するものであり、経済交流を着実に進めることが大切であること。
- (6) 合意結果（共同宣言文は別添のとおり）
 - ・第23回を迎えたこの地方政府サミットが北東アジア地域の繁栄と経済の安定的成長に果たしてきた役割を高く評価し、今後一層の経済交流・人的交流・地域間協力を進めることで合意した。
 - ・DBSクルーズフェリー、米子—ソウル航空便等交通ネットワークの拡大に向け、新規ルートの開拓、交通インフラの発展に努めることで合意した。
 - ・鳥取県で開催される「2019 レーザー級世界選手権大会」（2019年7月）、「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」（2021年5月）を含む各地域で開催される様々なイベント等に対して、積極的に協力しながら支援を行うことで合意した。
 - ・次回サミットの開催地域をモンゴル中央県に決定した。

2 二地域間会談

- (1) 日時 10月30日（火）午後3時から午後6時30分まで
- (2) 場所 沿海地方行政政府内会議室（ウラジオストク市内）

【吉林省 景俊海（ジン・ジュンハイ）省長との会談概要】

- ・10月25日に北京で開催された第三国協力フォーラムにおいて両県省が推進に関し協定を締結したADAS（先進運転支援システム）・EV（電気自動車）プロジェクト、吉林省琿春を拠点と

する物流ルートの構築や今後の観光交流について、両県省の発展のため連携して取り組んでいくことを確認した。

【江原道 鄭萬昊（チョン・マンホ）経済副知事との会談概要】

- ・両県道の友好交流25周年を迎える来年度に記念事業等を連携して実施することで一致した。
- ・江原道が2019年2月中旬に開催する平昌オリンピック1周年記念イベントについて、本県に参加要請があった。

【中央県 ジグジド・バトジャルガル知事との会談概要】

- ・中央県側から、農業研修生及び相撲留学生の受入、医療機器整備について協力依頼があった。

【沿海地方 コスウテンコ第一副知事との会談概要】

- ・DBSクルーズフェリーの利用促進のため、ウラジオストク港の港湾インフラ整備と通関の円滑化について鳥取県側から要望を行い、沿海地方側から、関係機関と調整を行い改善していくとの回答があった。

3 第20回北東アジア美術作品展示会開幕式

- (1) 日時 10月30日（火）午後2時半から午後3時まで
- (2) 場所 国立沿海地方美術館（ウラジオストク市内）
- (3) 内容

- ・サミット参加5地域から各15点の美術作品を集め展示・公開した。野川副知事が開幕式に来賓として出席し、テープカットを行った。
- ・開会期間：10月30日（火）～11月4日（日）

参考：野川副知事日程

月 日	日 程
10月29日（月）	出国
10月30日（火）	10:00～12:00 サミット本会議 12:00～12:30 共同記者会見 14:30～15:00 第20回北東アジア美術作品展示会開幕式出席 15:30～18:00 二地域間会談 19:00～21:00 沿海地方知事主催全体レセプション
10月31日（水）	帰国

※上記時間は現地時間（時差は日本+1時間）



共同宣言文署名後の5地域代表者



美術作品展示会開幕式

第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット

共同宣言

ロシア連邦沿海地方副知事 ボグダネンコ・コンスタンティン、モンゴル国中央県知事 ジグジド・バトジャルガル、大韓民国江原道経済副知事 鄭萬昊、中華人民共和国吉林省長 景俊海、日本国鳥取県副知事 野川聡は、2018年10月30日に沿海地方において開催された「第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」において、相互協力及び友好関係に基づき北東アジア地域の共同繁栄のために幅広く意見交換を行い、次の事項について合意した。

- 1 これまでの23年間、北東アジア地域の繁栄並びに経済の安定的成長において、本サミットが果たしてきた役割を高く評価し、今後、平等で互恵的な関係を基礎とし、より強固で親密な地域間関係を築いていくため、本サミットにおいて、一層の経済交流・人的交流・地域間協力を進めていく。
- 2 経済特区は新しい高付加価値製品の生産・先端技術の導入・物流ネットワークの改善・観光及びレクリエーション活動の発展に有効な仕組みである。各地域の経済発展のため、こうした仕組みを活用し、国際的な経済交流を促進する。
- 3 各地域の経済発展は交通ネットワークの発展と密接に関係しているため、既存航路である境港－東海－ウラジオストク貨客船航路、米子－ソウル航空便、ウラジオストク－長春航空便を総合的に支援する。各地域は琿春－ザルビノー東草航路、長春－襄陽航空便の再就航や、境港－東海－ウラジオストク貨客船航路のザルビノー延伸による吉林省琿春へつながる物流ルート構築に連携して取り組む。こうした交通ネットワークの拡大に向け、新規ルートの開拓、交通インフラの発展に努める。
- 4 自然保護制度は希少な動植物や生態系を保護する制度である。国家レベルでの自然保護の推進と経済的評価を含む制度の発展に向けて、各地域は、地域間の交流と情報交換を推進していく。また、生物多様性の保全とともに、PM2.5等の環境大気中の微小粒子状物質の排出削減にも取り組む。
- 5 各地域で開催する様々な国際行催事を歓迎し、積極的に相互支援を行っていく。
 5. 1 沿海地方で開催する東方経済フォーラム、太平洋観光フォーラム、太平洋国際観光展（PITE）、「国境なき自然」国際環境フォーラム
 5. 2 中央県で開催するモンゴル民族祭「ナーダム」、「中央県ナーダム」
 5. 3 江原道で開催するG T I 国際貿易・投資博覧会、北東アジア女性CEO交流会、平昌フォーラム2019
 5. 4 吉林省で開催する「中国・北東アジア」博覧会（長春市）、農業・食品国際フェア（長春市）、長春国際モーターショー（長春市）、中国映画祭in長春、中国国際観光業・氷フェスティバルin吉林、第11回北東アジア産業技術フォーラム
 5. 5 鳥取県で開催する2019レーザー級世界選手権大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西

上記事業が成功するように全力を尽くしていく。

6 各地域の住民同士の交流、相互理解、友情を深めることを目的に、科学、文化、スポーツ、教育、観光等の交流を促進する。美術展示会・映画祭等の文化交流を通じ情報交換と歴史・伝統・文化理解等を促進する。

7. 「第24回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」は、2019年、モンゴル中央県で開催する。

この共同宣言文はロシア語、モンゴル語、韓国語、中国語、日本語でそれぞれ作成する。各言語版は同一の効力を持ち、各地方政府が各1部を保管する。

2018年10月30日



ロシア連邦沿海地方副知事



モンゴル国中央県知事



中華人民共和国吉林省長



大韓民国江原道経済副知事



日本国鳥取県副知事

野川 聡

台湾台中市との友好交流協定締結、知事トッププロモーション活動の結果について

平成30年11月29日
交流推進課
観光戦略課国際観光誘客室

台湾台中市とは梨穂木の輸出をきっかけに1997年から交流を続けてきましたが、この度、平井知事が訪台し、11月2日（金）に林佳龍（リン・ジャーロン）台中市長との間で友好交流協定を締結しました。また、平井知事は、台中市内の旅行会社へのプロモーション活動や、協定締結を記念し開催した鳥取県物産展でのトップセールスを行うとともに、台北市で航空会社や旅行会社への観光プロモーション活動を行いました。さらに、11月3日（土）には友好交流協定を締結した台中市で開幕した「花博」で観光PRや鳥取県の出展ブースの視察等を行いました。

1 友好交流協定締結式

- (1) 日時 11月2日（金）午後1時30分から2時30分まで
- (2) 場所 台中市政府（台中市西屯区）
- (3) 出席者 （日本側）平井鳥取県知事、鳥取県議会台湾訪問団（藤縄県議ほか）、手嶋北栄町副町長、山根鳥取県日台親善協会理事、尾崎 JA 全農とっとり県本部長ほか
（台湾側）林佳龍（リン・ジャーロン）台中市長ほか台中市幹部、
宋子正（ソン・ツウジョン）台湾政府外交部中部弁事処長、羅進洲（ルオ・ジンジョウ）台中市温泉観光協会理事長ほか

(4) 結果

- はじめに、本県の伝統芸能である鳥取しゃんしゃん傘踊りを、「百花繚蘭」が披露した。
- 林台中市長から、チャーター便による多くの鳥取県民の台中市来訪に対する感謝が示されるとともに、まずは台中空港と鳥取県内の空港を結ぶ定期チャーター便の就航に努力したいとの話があった。また、林台中市長は、梨の穂木を契機に始まった両地域の長年の交流について関係者への謝意が表明するとともに台中市に開設される国家漫画博物館などを活用した漫画を通じた交流や、台中市でも設立が検討されている砂の美術館を通じた交流など、今回の友好交流協定締結を契機とし、本県と一層の交流の進展を図っていききたい旨の挨拶があった。
- 平井知事から、台中市における花博開催に係るお祝いと、これまで台中市との間で行ってきた青少年、スポーツ、文化などの幅広い分野での交流を基礎に、今回の友好交流協定締結を契機に観光や物産面での交流を更に促進していきたい旨の発言を行った。また、平井知事は、台湾でデビューした歌手周華健の台湾で人気の高い歌「朋友」を歌い、台中市の人々に一緒に歩んでいこうと呼びかけ、本県と台中市が力を合わせて交流を発展させていくと表明し、会場を沸かせた。
- 平井知事及び林市長は、両縣市共催による「まんが王国とっとり国際マンガコンテスト」の開催を発表した。（コンテスト概要について以下【参考】に記載）
- 締結式には、これまで両地域の交流に尽力してきた農業関係者や行政、教育、観光、物産等計約100名の関係者が集まり、両縣市の友好交流協定締結を祝った。



【参考】国際マンガコンテスト in 台中 2018 概要

1 募集作品

- (1) 募集作品 1コママンガ（1ページ）または4コママンガ（8ページ以内）
- (2) テーマ 交流
- 2 応募資格 台湾在住であること（プロ、アマの別、年齢、国籍等、在住地以外は問わない）
- 3 募集期間 平成30年11月2日（金）から平成31年1月10日（木）まで
- 4 賞及び副賞
 - (1) 最優秀賞 賞金10,000台湾ドル及び鳥取県への招待
 - (2) 鳥取賞 賞金8,000台湾ドル及び副賞
 - (3) 台中賞 賞金8,000台湾ドル及び副賞
- 5 審査員 木村直巳氏（漫画家）、鳥取県まんが王国官房長、台中市政府選任審査員2名
- 6 受賞作品発表 平成31年1月下旬（予定）

2 台中マンドリン航空及び旅行会社との意見交換

- (1) 日 時 11月1日（木）午後6時から午後8時まで
- (2) 場 所 金典ホテル（台中市西屯区）
- (3) 出席者 （日本側）平井鳥取県知事ほか
（台湾側）マンドリン航空台中支店許力暉（シュウ・リーイェ）総経理、昭安旅行社林嘉盛（リン・ジャーセン）社長など台中市内旅行会社関係者
- (4) 結 果
 - 平井知事から、梨の穂木の輸出に始まる交流を基礎として今回の連続チャーター便の運航に繋がったことや台湾の方にも喜んでいただける観光地が多くあることを紹介し、本県への旅行商品の造成等をお願いした。
 - マンドリン航空台中支店許総経理からはチャーター便の運航が成功したことは鳥取県の魅力によるものだと評価され、連続した季節チャーターの運航に加え、将来的な定期便の運航について検討していきたい旨の発言があった。
 - 旅行会社からは、鳥取県を訪問し、その魅力をもっと知り、ツアー造成やチャーター便運航への協力をしていきたい旨の発言があった。

3 中華航空台北支社との意見交換

- (1) 日 時 11月2日（金）午後4時30分から午後5時10分まで
- (2) 場 所 中華航空台北支店（台北市）
- (3) 面談者 （日本側）平井鳥取県知事ほか
（台湾側）馮震宇（フォン ズンユー）協理ほか4名
- (4) 結 果
 - 平井知事から、鳥取砂丘コナン空港に就航する台北及び台中との連続チャーター便の運航に対して感謝の意を伝え、今後のチャーター便、更には定期便の就航を要請した。
 - 馮協理からは、来年の春や秋における鳥取県へのチャーター便の運航を旅行会社に打診しているとの発言があり、台湾における本県の一層の知名度向上を期待された。これに対し平井知事は、便数拡大が見込まれるならば台湾を重点的にプロモーションする地域として広報宣伝を強化すると応じた。



4 台北旅行会社等との意見交換

- (1) 日 時 11月2日(金) 午後6時30分から午後8時まで
- (2) 場 所 欣葉台葉南西店(台北市)
- (3) 出席者 (日本側) 平井鳥取県知事ほか
(台湾側) 名生旅行社柯佳銘(カ・ジャミン) 董事長、東南旅行社廖培(リャウ・ペイウエン) 副総経理、日本台湾交流協会中杉氏ほか台北市内旅行会社8名
- (4) 結 果
○平井知事から、日ごろ鳥取県へ送客をいただいていることに対し感謝の意を伝えるとともに、マンガコンテンツや鳥取砂丘、大山などの自然、和牛、カニなどのおいしい食べ物があることを紹介し、更なる送客をお願いした。
○出席の旅行会社からは、鳥取の魅力をさらにPRしていけば、より一層知名度が上がり、継続したチャーター便の運航などで訪問客が増えるとの発言があった。

5 鳥取県PR活動及び出展ブースの視察

- (1) 日 時 11月3日(土) 午前10時から11時まで
- (2) 場 所 花博后里馬場会場(台中市)
- (3) 結 果
○11月3日(土)に開幕した「2018台中フローラ世界博覧会」会場内のステージにおいて、平井知事は、「名探偵コナン」及び「ゲゲゲの鬼太郎」の着ぐるみとともにステージに立ち、鳥取県がゲゲゲの鬼太郎や名探偵コナンのふるさとの「まんが王国とっとり」であることを紹介しながら、二十世紀梨や鳥取和牛などの豊かな食をPRした。
○また、鳥取市のしゃんしゃん傘踊りチーム「百花繚蘭」がしゃんしゃん傘踊りを披露し、本県の魅力をPRした。
○会場に集まった約200名の台中市民は、平井知事の挨拶や傘踊りに拍手や歓声をあげて応えるなど反応は上々であり、台中市における鳥取県の知名度の向上を図ることができた。
○さらに、平井知事は、「2018台中フローラ世界博覧会」の鳥取県出展ブースを視察するとともに、出展を行っている花回廊関係者に対し激励を行った。

(参考1)「2018 台中フローラ世界博覧会」の概要

- 1 期 間 : 2018年11月3日~2019年4月28日(開園時間: 午前9時~午後7時)
- 2 会 場 : 台中市后里区、外浦区及び豊原区(95ヘクタール) メイン会場は后里区(台中市北部)
- 3 テーマ : 「花を再発見する GNP: 緑、自然と人と触れ合う花の都市」
※GNP: Green(緑)、Nature(自然)、People(人々)

(参考2) 本県の出展概要(生産振興課主管)

- 1 出展期間 2018年11月3日~11月18日
- 2 出展会場 后里馬場園区花艶館
- 3 展示規模 1ブース(5m×6m)分
- 4 テーマ 「とっとり花回廊と鳥取県」-開山1300年「大山」を借景とした日本有数のフラワーパークへようこそ-



6 鳥取県物産展でのトップセールス（販路拡大・輸出促進課主管）

- (1) 日 時 11月2日（金）午前10時30分から午前11時10分まで
- (2) 場 所 裕毛屋崇徳店（台中市）
- (3) 出席者 （日本側）平井鳥取県知事、JA 全農とっとり 尾崎本部長、(株)はなふさ 花房社長、(株)プレマスペース 大家社長、日本食品工業(株) 廣谷専務ほか
 （台湾側）謝明達（シェ・ミンダ）裕毛屋社長

(4) 結果

- 平井知事が中国語で鳥取和牛、柿、梨などの食をアピールするとともに、まんが王国とっとりをはじめ鳥取県観光の魅力を紹介したところ、会場から大きな拍手が起こった。
- 傘踊りチーム「百花繚蘭」にしゃんしゃん傘踊りを披露いただき、鳥取県観光の魅力を紹介して台中市での知名度アップを図った。
- セレモニー終了後、出展事業者らとともに試食提供などを実施し、県産品のおいしさをアピールした。消費者からは「輝太郎柿を初めて食べたが甘くておいしい。」「鳥取和牛が肉質日本一とは知らなかった。ぜひ鳥取へ旅行して食べてみたい。」といった反応があった。

7 Walker Grow-Rite International との意見交換（販路拡大・輸出促進課主管）

- (1) 日 時 11月3日（土）午後1時から午後2時15分まで
- (2) 場 所 皇膳極品料理（台北市）
- (3) 出席者 （台湾側）Walker Grow-Rite International 余鉄為（ユー・ティエウェイ）社長ほか2名
 （鳥取県側）平井鳥取県知事、JA 全農とっとり 尾崎本部長、鳥取県農協柿部長協議会 上田会長ほか

(4) 結果

- 平井知事から、本県産梨の台湾の最大の輸入販売先である Walker Grow-Rite International 余社長に対し、感謝の意を伝えるとともに、新甘泉を含む梨の販売促進、輝太郎柿の新規取扱いについて要請した。余社長からは前向きに検討していきたいとの意向が表明された。

【参考】平井知事台湾訪問日程

日にち	行 程	
11月1日（木）	18:00-20:00	台中航空会社及び旅行会社との意見交換会
11月2日（金）	10:30-11:15	鳥取県物産展でのトッププロモーション
	11:30-13:00	友好交流協定締結記念昼食会
	13:30-14:30	友好交流協定締結及びまんがコンテスト開催記者発表
	16:30-17:10	中華航空台北支社訪問
	18:30-20:00	台北旅行会社との意見交換会
11月3日（土）	10:00-10:30	花博ステージでのPR
	10:30-11:00	花博会場視察
	13:00-14:15	余鉄為 Walker Grow-Rite International 社長ほかと面談



鳥取県と台中市による 友好交流協定



鳥取県と台中市は恒久的な友好関係を築くため、双方による正式な同意を経て友好都市として提携する。双方は既存のものを基礎として、両県市民の自由で健やかな生活を目指し、相互提携および共同で各領域における交流に努め、双方の県市民の友情が永続的に発展するよう尽力する。

1. 双方は平等で互恵であることを基礎として、共同で両県市民の友好交流を促進する。
2. 双方は互いに情報交流を行い、かつ産業、教育、スポーツ、農業、観光、文化芸術とその他の合意した領域において交流と提携を強化する。
3. 双方は交流と提携のもとに長期的な友好関係を構築し、共に両県市における都市の繁栄と発展に尽力する。
4. 双方は友好都市としての関係のもとに両国民間における友情を深めることに尽力する。

本協議書は中国語と日本語による一式二部を作成し、両言語版とも同等の効力を有する。双方が署名をした日より発効する。

2018年11月2日 台中市にて署名

鳥取県

平井伸治

知事 平井伸治

台中市

林佳龍

市長 林佳龍

秋の伯耆国「大山開山 1300 年祭」関係イベント等について

平成 30 年 1 1 月 2 9 日
西部総合事務所地域振興局

伯耆国「大山開山 1300 年祭」のクライマックスイベント「大山ワンダーフォーラム」を開催したほか、秋の紅葉シーズンに大山圏域の歴史・文化・自然をアピールするイベントを実施しましたので、その概要を報告します。

1 大山ワンダーフォーラム

- 10月20日、21日に「農と食のフェスタ in せいぶ」と一体開催する形で、大山開山 1300 年祭の集大成、クライマックスイベントとして「大山ワンダーフォーラム」を開催しました。
- この一連のイベントに県内外から約 1 万 9 千人が来場し、刀剣・たたらの歴史・文化、自然・星の美しさ、水と食の豊かさ等様々な大山圏域の魅力を味わい、大山の素晴らしさを認識、体感いただきました。
- ※一体開催の相乗効果もあり、農と食のフェスタは過去最高約 6 万人を集客した。(これまでの最高は約 4 万 5 千人)

日	イベント	内容	集客数
10/20 (土)	「大山を詠む！」俳句コンテスト (13:30～15:30、米子コンベンションセンター小ホール)	大山等の写真をテーマに出場者が俳句を詠み競う。	170 人
	「星」のフェスタ (10:00～20:30、米子市児童文化センター)	星空観察、プラネタリア番組上映、トゲツォー等で星空の魅力を堪能する。	1,600 人
	大山ブランドフェスティバル (10:00～16:00(※21日は15:00まで) 米子コンベンションセンター 国際会議室)	大山開山 1300 年祭おもてなし料理の提供、料理コンテストなどで水と食の魅力を味わう。	900 人
10/21 (日)	大山ワンダーとっとりスタイル エコツーリズム講演会 (10:30～12:00、米子コンベンションセンター 小ホール)	大山と日本文学という視点から大山の魅力を再発見する。	220 人
	日本の鉄文化・たたら歴史フォーラム (9:30～16:00、米子市公会堂)	たたら製鉄に関する事例発表や日本刀の魅力に迫る対談等を行う。	950 人

※関連イベント：戸板市(10/20、集客数不明)、よなごグランマルシェ(10/21、15,000人)、よなご歩き愛です(10/21、200人)

(1) 「大山を詠む！」俳句コンテスト

- 昨年度実施した「私の好きな大山写真コンテスト」の入選作品を題材として俳句を詠み、写真と俳句を通じて大山の魅力を味わう俳句コンテストを開催した。
- 俳句が趣味の藤田弓子さんがゲスト出演し、自らも大山の写真を見て俳句を詠むなど、約 170 人が集まった会場を盛り上げた。
- 参加者からは「美しい写真と素敵な俳句で大山の素晴らしさを実感」「若者が大山の魅力を紹介してくれて嬉しい」等好評いただく。

日時 10/20(土) 13:30～15:30
場所 米子コンベンションセンター小ホール

ア 俳句コンテスト

- ・地元の俳人、高校生、県外の高校生ら計 7 チームが出場し、ステージ上で俳句を披露し、観覧者と大山の魅力を共有した。

※県外から、俳句甲子園全国大会等で活躍する愛媛県の松山東高等学校、今治西高等学校、伯方高等学校が出場し、その俳句の素晴らしさに会場からはため息が漏れた。



ゲスト・藤田弓子さん



俳句の発表

イ 伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念 大山俳句大賞表彰式

- ・今年、日本海新聞紙面上で実施した「大山俳句大賞」(応募 656 句) の表彰式を開催した。

[参考] 伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念 大山俳句大賞の大賞受賞作

自由部門:「大山を称ふる手話の指涼し」

写真部門:「大山の宇宙へ続く登山道」

ウ 米子西高校 書道パフォーマンス

- ・大山俳句大賞の大賞受賞作(2点)を、米子西高校がパフォーマンス付きで揮毫した。



書をバックに集合写真

(2) 「星」のフェスタ

○大ヒットプラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」の上映、同番組の制作者・KAGAYA さん(映像クリエイター・星景写真家)による山陰初のトークショー、星空ウォッチングなどを通じ、約 1,600 人の来場者に大山圏域の星空の魅力をアピールした。

○KAGAYA さんは、約 60 万人の国内外の Twitter フォロワーに向けて、「鳥取県」という言葉と共に、星の写真を掲載された。

日時 10月20日(土) 10:00~20:30

場所 米子市児童文化センター

ア プラネタリウム番組の上映

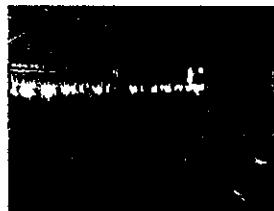
- ・「銀河鉄道の夜」を4回上映し、うち3回は定員(130人)を上回る盛況であった。



「銀河鉄道の夜」の上映待ち
上映の1時間前から並ぶ方も!

イ KAGAYA さんトークショー&トークセッション

- ・KAGAYA さんのトークショー及び KAGAYA さんと金本成生さん(宇宙ビジネスを手掛ける、株式会社スペースシフト代表取締役。米子市出身)によるトークセッションを開催し、会場は定員 250 名で埋め尽くされた。



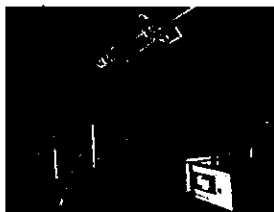
トークショーの様子

ウ 星空ウォッチング

- ・光学機器メーカービクセン協力のもと、天体望遠鏡、双眼鏡、天体観測室の望遠鏡などを使って星空観察を行った。

エ その他

- ・VRオーロラ体験、宇宙食&天体グッズ販売、星空カフェ(カフェブース出店)なども実施した。



天体観測室での星空ウォッチング

(3) 大山ブランドフェスティバル

○大山圏域の水と食の素晴らしさをPRし、地域の伝統料理や大山開山 1300 年祭を機に新たに創作されたおもてなし料理等の魅力を後世へと引き継ぐイベントに約 900 名が参加した。

日時: 10月20日(土) 10:00~16:00、21日(日) 10:00~15:00

場所: 米子コンベンションセンター国際会議室等

ア 大山圏域 山里海の幸 料理コンテスト

- ・地元食材を使い、大山をテーマにワンプレート料理を創作した。
[料理コンテスト結果]



料理コンテスト

最優秀賞	大山食欲マップ(米子市立福生中)
優秀賞	大山ブロッコリーのフルコース(大山ブロッコリー料理研究会)

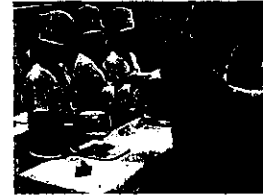
イ 大山を楽しむ お料理教室

- ・美料理研究家の道乃さんによる料理教室で、大山圏域特産のネギを使ったネギカレーなど、地元の豊富な野菜をふんだんに使ったレシピなどが紹介された。

ウ プロも驚く高校生の創作料理発表

- ・大山開山 1300 年祭を機に地元高校生が飲食店と一緒に組んだ創作料理を発表し、数量限定で来場者に試食提供した。

高校名	試食品目
境港総合技術高校	カニ汁、赤貝の炊き込みご飯
米子南高校	牛乳プリン、そばどら焼き



エ その他

- ・サントリー水の出張教室（森と水のつながり、水の大切さを小学生等に伝えた）
- ・おもてなし料理コーナー（1300 年祭おもてなし料理を提供する 6 店舗が料理を提供した）

(4) 大山ワンダーとっとりスタイルエコツーリズム講演会「心の風景を旅する」

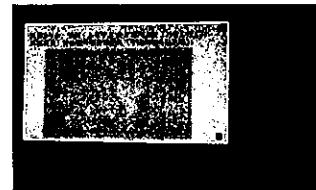
- 日本文学研究者・国文学研究資料館長のロバート キャンベルさんを招き、他地域の自然、文化、文学作品など様々な地域文化、他地域の事例、大山圏域の地域文化を見つめ、大切にしていく考え方などを説明いただいた。

日時 10月21日（日）10:30～12:00

場所 米子コンベンションセンター 小ホール

演題 日本文学のローカルとグローバル

～地域文学を見つめ、創造する一歩として～



解説するロバート キャンベルさん

(5) 日本の鉄文化・たたら歴史フォーラム

- 芸能界きっての歴史・日本刀通の俳優・高橋英樹さんと作家・井沢元彦さんによる対談などを行い、日本刀や伯耆国の刀工・伯耆安綱の魅力アピールし、約 950 人の来場があった会場も大いに盛り上がった。併せて、各種体験・ワークショップ、事例発表等も行った。

日時 10/21（日）9:30～16:00

場所 米子市公会堂大ホール

ア たたら製鉄をテーマに地域活性化等に取り組んでいる 6 団体による事例発表

- ・以下の 6 団体による事例発表を行い各団体の取組等について情報共有、情報発信を図った。
- 鉄の道文化圏推進協議会（島根県）、宍粟鉄を保存する会（兵庫県）、
 - 備中国新見庄たたら伝承会（岡山県）、奥安芸の鉄物語たたら楽校実行委員会（広島県）、
 - いわてたたら研究会（岩手県）、伯耆国たたら顕彰会（鳥取県）

イ 「たたらトーク」

- ・事例発表を受けて角田徳幸さん（島根県埋蔵文化財調査センター）、石村隆男さん（とっとりコンベンションビューロー）による「たたら製鉄」の今後の活用方策等を提言した。

ウ 基調講演

- ・作家・井沢元彦氏が、「たたら・はがね・日本刀 その文化と歴史」をテーマに講演した。

エ 高橋英樹さん×井沢元彦さんによる対談

- ・「伯耆国 日本刀はここから始まった！」をテーマに刀工・安綱を輩出した歴史的背景や日本刀の魅力について語った。
- ・高橋さんが模造刀を使って、時代劇における刀の構え方を身振り手振りで解説する場面もあり、来場者は大いに沸いた。



高橋さんと井沢さんの対談

オ その他のイベント等

- ・ミニたたら操業
- ・ペーパーナイフづくり体験
- ・神楽上演（日南神楽神光社）
- ・居合道演武（米子真武官）
- ・大山賛歌合唱（コスパルオーブ）
- ・伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念刀特別展示
- ・事例発表団体、日野郡 3 町パネル展示



ペーパーナイフづくり体験

(6) その他関連イベント

- ア 戸板市（といたいち）（10/20（土）、本通り商店街～元町通り商店街、主催：「市」実行委員会）
- ・戸板の上に品が並ぶ昔ながらの商店市を開催。

- イ よなごグランマルシェ（10/21（日）、米子市公会堂前広場、主催：米子商工会議所・同青年部）

- ・「山陰いいものマルシェ」と「よなごマルシェ」が合同で開催され、大山圏域の農水産品、加工品など選りすぐりの逸品を一堂に集めて販売した。
- ・約 15,000 人が来場。オープン前から行列ができ、食材や商品が足りなくなり、店まで何往復した出店者も多数あった。



15,000 人を集客したグランマルシェ

- ウ よなご歩き愛です（10/21（日）、米子下町周辺、主催：米子市）

- ・全国各地で開催されている人気ウォーキングイベントを開催した。
- ・イベント会場を繋ぐコース設定で、参加者から「いろんな楽しみを一気に味わうことができた」と満足いただいた。

2 その他伯耆国「大山開山 1300 年祭」関係イベントの実施結果 ※主なもの

- (1) 大山紅葉満喫ウォーク（主催：大山紅葉満喫ウォーク実行委員会）

○錦秋の大山環状道路（榊水高原－奥大山スキー場間 7.5km）を半日限定で歩行者に開放し、同区間を活用したウォークイベントの開催、県内外からのウォーキングツアーの招致、周辺エリアの食イベント「奥大山美味しいもん祭」との連携により、県内外からの集客及び地元経済の活性化を図った。



鍵掛峠から望む大山南壁

日時 10月27日（土）7:00～14:00

場所 大山環状道路（榊水高原－奥大山スキー場間）

内容

ア 大山環状道路の歩行者開放

- ・自動車等の通行を規制し、車両を気にせずゆったりと道路を歩ける区間を提供した。

イ ウォーキングイベントの実施

- ・大山環状道路及び紅葉の名所鍵掛峠を通る 4 コースを設定し、計 526 名が錦秋の大山を踏破した。また、食のイベントにも多くの方が参加した。

〔コース〕

- 奥大山スキー場－鍵掛峠間（往復 4.2km／参加 265 名）
- 榊水高原－奥大山スキー場間（片道 7.5km／参加 67 名）
- 榊水高原－鍵掛峠間（往復 10.8km／参加 109 名）
- 健脚・横手道（榊水高原－鍵掛峠－大山寺橋 13.0km／参加 85 名）

ウ ウオーキングツアーの招致

- ・県観光連盟の観光情報説明会等に参加し、中京、京阪神及び中四国地方の旅行会社に歩行者開放区間のウォーキングツアー催行を提案したところ、7企業・団体がツアーを実施し、約1,200人が鍵掛峠の絶景など紅葉の時期ならではの大山を楽しんだ。

(2) 新しい「大山詣り」ホーリートレイル大会 [主催:伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会]

- かつて大山詣りに供された「大山道」のうち、尾高道、横手道、川床道をたどって一斉に大山を目指すハイクイベントを行った。
- 一町地蔵、道標、石畳など当時の面影を残す古道をハイクで楽しみ、夜のたいまつ行列と合わせて大山の歴史、自然、文化を満喫いただいた。

開催日:11月11日(日)

- ア 川床道(ロングコース:約8.5km/参加40名)
 - ・標高差にして650mを登って500mを下る、険しい健脚者向けコース
 - [ゲスト]福島和可菜さん(タレント、マラソンランナー)
- イ 横手道(ショートコース:約4.5km/参加30名)
 - ・アップダウンがない初心者向けコース
 - [ゲスト]加賀谷はつみさん(シンガーソングライター)
- ウ 尾高道(ショートコース:約5.7km/募集定員180名)
 - ・米子方面からの参詣に供された尾高道のうち、森の国から大山博労座まで
 - [ゲスト]西谷綾子さん(タレント、マラソンランナー ※倉吉市出身)



福島和可菜さん



西谷綾子さん

(3) 秋のたいまつ行列～継承・次の100年へ～ [主催:伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会]

- 大山夏山開き祭(前夜祭)で年1回のみ開催されるたいまつ行列を、開山1300年を記念して秋にも開催し、約2,500人(たいまつ行列参加者は約800人)の方に荘厳で幻想的な大山の情景を体験、鑑賞いただいた。
- 大山博労座会場では、大山カラス天狗市(屋台)や大山僧兵太鼓・三徳山行者太鼓・下蚊屋荒神神楽の演奏なども実施した。

日時 11月11日(日)18:30～

場所 大神山神社奥宮～大山博労座



(4) とっとりバーガーフェスタ2018 [主催:とっとりバーガーフェスタ実行委員会]

- 全国からご当地バーガーが集まる日本最大規模の“ご当地バーガーの祭典”「とっとりバーガーフェスタ2018」を開催した。
- 開山1300年を迎えた大山への敬意を込め大山豚を加えた「新・YAZU バーガーwith大山」、大山寺地区の1300年祭メインコンセプト「調ふ」に沿い、精進料理に親しんでいただく「“禅”バーガー大山寺」などが出店され、会場に集まった1万7千人(2日間)が全国のご当地バーガーを堪能した。
- 「全国ご当地バーガーグランプリ」が併催され、大江ノ郷自然牧場の新YAZUバーガーwith大山がグランプリに選ばれ、2連覇を達成した。
- 1300年祭を機に改良された“禅”バーガー大山寺も過去最高の5位を獲得。

日時 11月17日(土)10:00～15:00、18日(日)10:00～14:00

場所 大山博労座駐車場

出店団体 17団体 ※全国ご当地バーガーグランプリ参加は17団体

